記入見本

**住所は登記簿に記載された通り、正確にご記入下さい。**

**認 証 申 請 書**

　　年　　月　　日

一般財団法人　日本建築総合試験所

　理事長　　　川瀬　博　　殿

**社印を押印してください。**

大阪府大阪市中央区内本町二丁目４番７号

**申請者名において、法人にあっては会社名（本社）及び代表者名をご記入下さい。**

○○コンクリート株式会社

 　代表取締役　　大阪太郎

**代表者印を押印してください。**

産業標準化法第３０条第１項の規定に基づき、下記のとおり表示の認証を受けたいので、別紙書類を添えて申請します。なお、申請書・添付書類の記載情報については事実と相違ありません。また、「製品認証システム説明書」の記載事項を遵守し、認証申請に係る必要な全ての情報を提供することに同意いたします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （１）認証を受けようとする製品 | 鉱工業品の名称 | 　レディーミクストコンクリート |
|
|
| 日本産業規格の番号及び名称並びに等級又は種類 | 　JIS A 5308 レディーミクストコンクリート 普通コンクリート・舗装コンクリート |
|
|
|
| （２）認証の区分 | ――――**普通コンクリートのみの場合は、「普通コンクリート」とご記入下さい。** | 普通コンクリート・舗装コンクリート |
| （３）認証を受けようとす　　 る製品を製造する工場又は事業場**住所は登記簿に記載された通り、正確にご記入下さい。** | ふ　り　が　な | ○○こんくりーとかぶしきかいしゃ　せんりこうじょう |
| 名　　　　　称 | ○○コンクリート株式会社　千里工場 |
| ふ　り　が　な | おおさかふすいたしふじしろだい |
| 所在地（郵便番号） | 大阪府吹田市藤白台五丁目8番0号（〒123－4567　） |
|
|
| 電　話　番　号 | 　０６－６６００－１２３４ |
|
| （４）認証を受けようとす る製品を製造する工場又は事業場の品質管理体制 | 適用する品質管理 体制の基準の種類 | 　基準（Ａ） |
|
|
|
| （５）品質管理責任者の氏　　　名・役職及び連絡先**電話番号、FAX番号及びeメールアドレスを３行に分けてご記入下さい。** | 氏　名（役　職） | 大西　三郎（技術課長） |
|
|
| 連　絡　先 | 　ＴＥＬ：０６－６６００－５６７８　ＦＡＸ：０６－６６００－７８９０ E-MAIL：kenchiku@con.ne.jp |
|
|

**添　　　付　　　書　　　類**

**法人の場合は会社名をご記入下さい。**

|  |  |
| --- | --- |
| 申　　　 請　 　　者：所　　　 在 　　　地：電 話 番 号 （本社）：F A X 番 号 （本社）：工 場 名又は事業所名：所　　　 在　　　 地： | ○○コンクリート株式会社 |
| 〒540-0026大阪府大阪市中央区内本町２丁目４番７号 |
| ０６－６９６６－５０３２ |
| ０６－４７９０－８６３１　　 |
| 　　　　　　　　　　　　 **組合の場合：出資金を記入****個人の場合：「－」と記入**資本金：１０００万円　　○○コンクリート株式会社　千里工場 |
| 〒565-0873大阪府吹田市藤白台５丁目８番１号 |

**目　次**

 ページ数

　　１．認証を受けようとする鉱工業品に係る工場又は事業場に関する事項

　　　（１）認証を受けようとする工場又は事業場の沿革 ----------------------

　　　（２）認証を受けようとする工場又は事業場の配置図 --------------------

　　　（３）認証を受けようとする工場又は事業場の従業員数 ------------------

　　　（４）認証を受けようとする工場又は事業場の組織図 --------------------

　　　（５）認証を受けようとする鉱工業品の最近６か月間の月別生産量 --------

　　（６）認証を受けようとする鉱工業品に係る社内規格一覧表 --------------

　　　（７）認証を受けようとする鉱工業品の工程の概要図 --------------------

　　２．認証を受けようとする鉱工業品、その包装等に付す表示の態様 ----------

　　３．認証を受けようとする鉱工業品に係る品質管理責任者に関する事項 ------

　 ４．認証を受けようとする鉱工業品の種類　--------------------------------

　 ５．他法令適合性等誓約書　----------------------------------------------

６．製品検査記録　------------------------------------------------------

**１．認証を受けようとする鉱工業品に係る工場又は事業場に関する事項**

**（１）認証を受けようとする工場又は事業場の沿革**

**必ず所在地をご記入下さい。**

　　1998年 1月　大阪府吹田市藤白台五丁目８番１号に、○○コンクリート株式会社を設立。

業務内容：建材の販売

**必ず業務内容をご記入下さい。**

資 本 金：1,000万円

敷地面積：10,000㎡

　　1998年 7月　大阪府吹田市藤白台六丁目９番２号に千里工場完成。普通コンクリートの製造販売を開始。

　　1999年 2月　千里工場が、JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」（普通コンクリート･舗装コンクリート）のJIS表示認定を取得。

**JISの取得、辞退及び工場の移転等は必ずご記入下さい。**

　　　　　　　　　　　　　認定年月日：1999年2月25日

　　　　　　　　　　　　　認定番号：５ＧＢ＊＊＊＊

　　2002年 2月　資本金2,000万円に増資。

　　2002年 8月　千里工場設備増設、軽量コンクリート生産開始。

2006年 9月　JIS表示認定を返上。

　　　　　　　　　　　現在に至る。

他工場に関する概要

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 | ○○コンクリート㈱　大阪工場 |
| 認証品目 | JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」普通コンクリート |
| 認証年月日 | 2009年10月20日 |
| 認証番号 | ＧＢ＊＊＊＊＊＊＊ |

**記入上の注意事項**

1. **申請者または申請会社の工場の沿革として、会社の設立からご記入下さい。また、JISに関わる項目をすべて具体的にご記入下さい。**
2. **申請工場に係る主要事項のみをご記入下さい。なお、複数工場を有する場合、他工場のことは本文中に記入しないで下さい（⑤参照）。**
3. **他の会社から事業承継した場合には、「○○株式会社より○○工場を事業承継し、○○工場とする」のように、承継内容を具体的にご記入下さい。ただし、被承継工場の過去の経緯は記入しないで下さい。なお、事業承継した工場がJIS表示認定工場であった場合には、以下の事項をご記入下さい。**

**【承継内容】**

**所 在 地：○○県○○市○○町○丁目○番○号**

**敷地面積：○○○○ｍ２**

**認証品目：JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」普通コンクリート･舗装コンクリート、軽量コンクリート**

**認証年月日：○○○○年○月○日**

**認証番号：○○○○○○**

1. **会社形態や社名の変更を行った場合には、「○○有限会社を、△△株式会社に社名変更する」等とご記入下さい。**
2. **１社で複数の工場（JIS表示認証工場に限る）を有する場合、「現在に至る」のあとの表に必要事項をご記入下さい（該当しない場合は表を削除し、２工場以上ある場合は表を追加して下さい）。**

**（２）認証を受けようとする工場又は事業場の配置図**

**（ａ）最寄駅と申請工場の関係**

|  |  |
| --- | --- |
| 　最寄り駅 |  地下鉄御堂筋（北大阪急行）線　　千里中央駅 |
| 　利用交通機関 |  阪急バス（大阪外大行） |  タクシー |
| 　所要時間（距離） |  約２０分 |  　 約５分 |

**この余白に最寄り駅から工場までを、分かり易く図示して下さい。地図のコピーをご利用頂いても結構です。**

**（ｂ）申請工場の配置図**

 （　　　　年　　月　　日現在）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 前面道路９ｍ |  |  　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 |
|  |  |  |
|  |  事務室 100㎡ |   |  試験室 100㎡ |  |  倉庫 50㎡ |  |
|  |  |
|  北門   |
|  花　壇 花　壇 |  |  駐車場 |  ○○○　サイロ 1 |  |
|  ○○○　サイロ 2 |
|  |   プラント |  ○○○　サイロ 3 |
|  ○○○　サイロ 4 |
|   |  ○○○　サイロ 5 |
|  |  | 残コン処理場 |  |
| 出入り口部分については、敷地境界線を引かないで下さい。 南門 → | 　○○タンク |
| 洗車設備 | 　○○タンク |
| 　○○サイロ |
|  |  駐車場 | 　○○サイロ |
| 　○○水槽 |
| 　○○水槽 |
|  |  |
|  |
|  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  |  |  ：敷地境界線 |
| 　　　　　　　　　　 　 Ｎ  |

|  |
| --- |
|  敷地面積：10,000㎡ 図の縮尺を統一し、縮尺の比率がアンバランスにならないように注意して下さい。 駐 車 場：大型車5台 小型車5台 |

**記入上の注意事項**

①図の縮尺を統一し、縮尺の比率がアンバランスにならないよう出来るだけ正確に記入して下さい。

②骨材の種類を明確にする識別して下さい。

③出入り口部分については、敷地境界線を描かないで下さい。

**④予備の骨材置き場が別の敷地にある場合は、その配置図も示して下さい。**

**（３）認証を受けようとする工場又は事業場の従業員数**

**※１社１工場の場合の記載例**

（　　　　年　　月　　日現在）

次頁(4)工場又は事業場の組織図にある各課又は係の区分に合わせて下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区 　分 | 事務係 | 輸送係 | 製造係 | 出荷係 | 資材係 | 試験係 | 技術係 | 計 |
| 従業員数(臨時従業員数の内数) | ３（１） | １０（５） | ３（０） | ３（１） | １（０） | ２（０） | ３（１） | ２５（８） |

**※工場等が複数の場合の記載例**

 **（ａ）企業全体の従業員数**

（　　　　年　　月　　日現在）

|  |  |
| --- | --- |
| 区　分 | 従 業 員 数（臨時従業員数の内数） |
| 本　　社 | １４（５） |
| 千里工場 | ２５（８） |
| 大阪工場 | １２（４） |
| 計 | ４５（１６） |

**（ｂ）申請工場（千里工場）の従業員数**

（　　　　年　　月　　日現在）

次頁(4)工場又は事業場の組織図にある各課又は係の区分に合わせて下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区 　分 | 事務係 | 輸送係 | 製造係 | 出荷係 | 資材係 | 試験係 | 技術係 | 計 |
| 従業員数(臨時従業員の内数) | ３（１） | １０（５） | ３（０） | ３（１） | １（０） | ２（０） | ３（１） | ２５（８） |

**記入上の注意事項**

①区分は次頁(4)工場又は事業場の組織図にある各課又は係の区分に合わせて下さい。

②臨時の従業員がいない場合は「０」と記入して下さい。

③兼任している場合は、該当する区分の従業員数に「※」を付記して下さい。

④「1社1工場の場合」、「工場等が複数の場合」のいずれかを選択し、不要な分は消去して下さい。

**（４）認証を受けようとする工場又は事業場の組織図**

**※１社１工場の場合の記載例**

（　　　　年　　月　　日現在）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 社　長 |  ○ |
|  |  |  （申請対象外） |
|  |  |  |  |
|  | 工場長 |  ○ | 建材販売事業部 |  |

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
|  | 品質管理責任者 |  |  | 品質管理委員会 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 業 務 課 | ○ | 製 造 課 | ○ | 管 理 課 | ○ | 技 術 課 | ○ |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 事 |  | 輸 |  | 製 |  | 出 |  | 資 |  | 試 |  | 技 |  |
|  | 務 |  | 送 |  | 造 |  | 荷 |  | 材 |  | 験 |  | 術 |  |
|  | 係 |  | 係 |  | 係 |  | 係 |  | 係 |  | 係 |  | 係 |  |

 　　　○＊

 ◎：品質管理委員会の委員長

　　　○：品質管理委員会の委員

 ＊：品質管理委員会の事務局

**※工場等が複数の場合の記載例**

**（ａ）本社と申請工場（千里工場）との関係**

（　　　　年　　月　　日現在）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 本　社 |  |
|  |  |
|  |  |  |  |
|  | 総 務 部 |  | 営 業 部 |  | 製 造 部 |  |
|  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 大阪工場 |  |  | 千里工場 |  |  |
|  |  |  |

 　（申請工場）

**（ｂ）申請工場（千里工場）の組織図**

（　　　　年　　月　　日現在）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 千里工場長 |  ○ |
|  |  |
|  | 品質管理責任者 |  |  | 品質管理委員会 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |
|  | 業 務 課 | ○ | 製 造 課 | ○ | 管 理 課 | ○ | 技 術 課 | ○ |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 事 |  | 輸 |  | 製 |  | 出 |  | 資 |  | 試 |  | 技 |  |
|  | 務 |  | 送 |  | 造 |  | 荷 |  | 材 |  | 験 |  | 術 |  |
|  | 係 |  | 係 |  | 係 |  | 係 |  | 係 |  | 係 |  | 係 |  |

 　　　 ○＊

 ◎：品質管理委員会の委員長

　　　○：品質管理委員会の委員

 ＊：品質管理委員会の事務局

**（５）認証を受けようとする鉱工業品の最近６か月間の月別生産量**

（　　　　　年　　月　　日現在）

**次頁の注意書きを参考にご記入下さい。**

 　　　　　　　　　　上段：製造量ｍ３ 、下段：試験回数

普通コンクリート

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| セメント種 類 | 呼び強度 | 2005年 | 2006年 | 合計 |
| 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
| Ｎ | ２１ | 40 | 360 | 500 | 450 | 600 | 550 | 2,500 |
| 1 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 25 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| ＢＢ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

舗装コンクリート

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| セメント種 類 | 呼び強度 | 2005年 | 2006年 | 合計 |
| 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
| Ｎ | ４．５ | 40 | 360 | 500 | 450 | 600 | 550 | 2,500 |
| 1 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 | 25 |

軽量コンクリート

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| セメント種 類 | 呼び強度 | 2005年 | 2006年 | 合計 |
| 7月 | 11月 | 12月 | 1月 | 3月 | 5月 |
| Ｎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

高強度コンクリート

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| セメント種 類 | 呼び強度 | 2005年 | 2006年 | 合計 |
| 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
| Ｎ | 50 |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 55 |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 60 |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

**注意事項：（認証を受けようとする鉱工業品の最近6か月間の月別生産量**

**「6か月間の月別生産量」は、ＪＩＳ適合品が安定的に供給できるかどうかを確認するためのものです。以下の要領でご記入下さい。**

**「製品検査記録」は、申請書の最後に添付して下さい。**

1. **認証を受けようとするコンクリートの種類（「普通」・「舗装」・「軽量」・「高強度」）別に出荷量の多い「呼び強度」のもの２つ程度とする。**
2. **「呼び強度」毎の月別全生産量を記入する。骨材寸法、混和剤種類での区別をする必要はない。（品質管理における層別ではない。）**
3. **生産量の数値は、整数とする。**
4. **直近6か月の生産実績を記入する。**

**詳細は、１８頁の「注意事項（製品検査記録）」を参照下さい。**

**⑤ 記入例の票は、一例です。必要ない部分は削除下さい。**

**（６）認証を受けようとする鉱工業品に係る社内規格一覧表**

|  |
| --- |
| 社　内　規　格　名 |
| 　総則 |  経営方針 年度目標管理規定 社内規格作成規定 組織規定 品質管理責任者規定 品質管理委員会規定 教育訓練規定 文書管理規定 公害防止規定 安全衛生規定 不適合管理規定 |
| 　製品の管理 |  製品規格 製品検査規定 配合設計基準 |
| 　原材料の管理 |  原材料購買規定 原材料品質規定 原材料受入検査規定 原材料保管管理規定 |
| 　製造工程の管理 |  製造工程図 工程中の検査規定 現場配合作成基準 製造作業標準 出荷作業標準 輸送作業標準 |
| 　設備の管理 |  設備購買規定 製造設備規定 検査設備規定 検査設備管理規定 |
| 　外注管理 |  外注管理規定 |
| 　苦情処理 |  苦情処理規定 |
| 　品質管理 |  品質管理規定 試験方法 |

**（７）認証を受けようとする鉱工業品の工程の概要図**

**注意事項**

1. **ヤード、サイロ等は設備の数の分を漏れなく図示して下さい。貯蔵ビン、計量ビンについても同様です。**
2. **工程図は実態に合わせて図示して下さい。**
3. **記号については、JIS Z 8206「工程図記号」によって下さい。**



生コンポッパーからサンプリングして工程検査を行っている場合は、不要となります。

この例は混和剤が先行計量の場合であり、混和剤を水と同時計量する場合は実態に合うように変更して下さい。

**「認証マーク等の表示の使用許諾に係る契約書」に転記しますので、正確にご記入下さい。また、社内規格とも整合させて下さい。**

**２．認証を受けようとする鉱工業品、その包装等に付す表示の態様**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 日本産業規格の番号、名称及び等級又は種類 | 表示を付す鉱工業品の単位 | 表示場所 | 表示の方法及び付記の方法 | 表示事項及び付記事項**納入書の製造業者名と整合をとる。（(株)や(有)等の略号での表記の場合は、(株)、(有)と記入）** |
| JIS A 5308レディーミクストコンクリート普通コンクリート舗装コンクリート | 運搬車1台ごと | レディーミクストコンクリート納入書 | 印刷 | ①JISマーク | 外径 12±1 ㎜ |
| 印字 | ②一般財団法人日本建築総合試験所の略称及び認証番号 | ＧＢ＊＊＊＊＊＊＊ |
| 印字 | ③納入年月日 | ＊＊年＊＊月＊＊日（和暦） |
| 印刷 | ④製造業者名 | ○○コンクリート㈱ |
| 印刷 | ⑤製造工場名 | ○○コンクリート㈱　△△工場 |
| 印字 | ⑥購入者名 | ＊＊＊＊＊ |
| 印字 | ⑦納入場所 | ＊＊＊＊＊ |
| 印字**製造工場名には会社名も併記する。** | ⑧運搬車番号 | ＊＊＊＊＊ |
| 印字手書き | ⑨納入時刻(発)(着) | ＊＊時＊＊分 |
| 印字 | ⑩納入容積 | ＊＊＊ｍ３ |
| 印字 | ⑪累計 | ＊＊＊ｍ３ |
| 印字 | ⑫呼び方 | （例）普通 24-18-20Ｎ |
| 印字 | ⑬荷受職員の認印又はサイン | ＊＊＊ |
| 手書き | ⑭出荷係の認印又はサイン | ＊＊＊ |
| 印字 | ⑮配合表(JIS A 5308の｢レディーミクストコンクリート納入書｣に規定される項目) | ＊＊＊ |
| － | ⑯プラント識別(複数の場合) | *
 |

**プラントが複数ある場合、ご記入下さい。**

**３．認証を受けようとする鉱工業品に係る品質管理責任者に関する事項**

**（１）品質管理責任者の氏名、生年月日、職名及び最終学歴**

**（２）品質管理責任者の認証を受けようとする鉱工業品の製造に必要な技術に関する実務経験**

**（３）品質管理責任者の標準化及び品質管理に関する実務経験及び専門知識の修得状況**

|  |  |
| --- | --- |
|  事　項 |  内　　　　　　　容 |
|  (1)（ふりがな）　　氏　　　名 |  （姓） おおにし 大西 |  （名） さぶろう 三郎 |
|  (2)生年月日 |  １９４７年１月２４日 |
|  (3)職　　名 | 工場長　**経験年数は整数で記入して下さい。** |
|  (4)最終学歴 | 千里実務専門学校 |
|  (5)認証を受けようとする鉱工業品の製造に必要な技術に関する実務経験 |
|  | 通算経験年数15年 |  |
|  |  企　業　名 |  所　属　部　署 |  　　 期　　　間 |
|  ○○生コン㈱  |  生コン事業部  | 1990年4月　～　1998年3月 |
|  ○○コンクリート㈱  |  千里工場技術課  | 1998年4月　～　2005年10月 |
|  (6)標準化及び品質管理に関する実務経験 |
|  | 通算経験年数15年 |  |
|  |  企　業　名 |  所　属　部　署 |  　　 期　　　間 |
|  ○○生コン㈱ |  生コン事業部  | 1990年4月　～　1998年3月 |
|  ○○コンクリート㈱  |  千里工場技術課  | 1998年4月　～　2005年10月 |
|  (7)標準化及び品質管理に関する専門知識の修得状況（次のイ、ロ、ハ、ニの該当する箇所に記入すること。） イ．大学において履修 |
|  |  　大　学　名 |  学　部　学　科　名 |  卒業年度 |  　 履　修　科　目 |  |
|  －  |  － |  －  |  － |
|  ロ．短期大学又は高等専門学校において履修 |
|  |  　学　校　名 |  　学　　科　　名 |  卒業年度 |  　 履　修　科　目 |  |
|  － |  － |  －  |  － |
|  ハ．講習会等の課程を修了 |
|  |  講習会等実施機関名 |  　受　講　期　間 |  　 　　 講習会（コース）名 |  |
| （財）日本規格協会　 | 1998年4月　～　1998年8月 | 工業標準化品質管理推進責任者講習会　（専修科コース） |
|  ニ．その他の方法で修得**フォローアップコースについては記入しないで下さい。**　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**認証書に転記しますので、正確にご記入下さい。また、社内規格とも整合させて下さい。**

**４．認証を受けようとする鉱工業品の種類**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| コンクリートの種類 | 粗骨材の最大寸法(mm) | ｽﾗﾝﾌﾟ又はｽﾗﾝﾌﾟﾌﾛｰ　(㎝) | 呼び強度 |
| 18 | 21 | 24 | 27 | 30 | 33 | 36 | 40 | 42 | 45 | 50 | 55 | 60 | 曲げ4.5 |
| 普通ｺﾝｸﾘｰﾄ | 20,25 | 8,10,12,15,18 | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 21 | **－** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 45 | **－** | **－** | **－** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 50 | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 55 | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **○** | **○** | **○** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 60 | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **○** | **○** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 40 | 5,8,10,12,15 | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 舗装ｺﾝｸﾘｰﾄ | 20,25,40 | 2.5, 6.5 | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **○** |
| 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ | 15 | 8,12,15,18,21 | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| コンクリートの種類 | 粗骨材の最大寸法(mm) | スランプ又はスランプフロー(㎝) | 呼び強度 |
| 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 |
| 高強度コンクリート | 20,25 | 12,15,18,21 | **－** | **－** | **－** | **－** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** | **－** |
| 45,50,55,60 | **－** | **－** | **－** | **－** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** | **○** | **－** | **－** | **－** | **－** | **○** |

**注意事項**

1. **呼び強度を限定して申請することができます。**
2. **高強度コンクリートは、呼び強度45を超え60までの整数を呼び強度として申請することができます。**
3. **申請しない粗骨材の最大寸法及びスランプ又はスランプフローについては消去して下さい。**
4. **申請しない区分（コンクリートの種類）については、その行または列を削除した表にして下さい。**

**５．他法令適合性等誓約書**

　　年　　月　　日

一般財団法人　日本建築総合試験所

　理事長　川瀬　博　　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪府吹田市藤白台五丁目８番１号

 　 ○○コンクリート株式会社

 　　代表取締役　　大阪太郎

**他法令適合性等誓約書**

　　　　　年　　月　　日付の認証申請書（JIS A 5308 「レディーミクストコンクリート」普通コンクリート・舗装コンクリート）の提出にあたり、申請工場は都市計画法、建築基準法、及び宅地造成法、並びに環境基本法等の立地・操業に係る関係法規に適合していることを確認しました。

　なお、当該工場が上記関連法規に違反していることが判明した場合は、貴法人には一切迷惑をかけず、その解決に努力します。

以　上

|  |
| --- |
| **「登記簿」を添付して下さい。****（履歴事項又は現在事項全部証明書）****（６ヶ月以内でかつ最新事項のもの）** |

**６．製品検査記録**

製品検査記録のコピー

|  |  |
| --- | --- |
| 検査項目 | ページ |
| 　圧縮強度 | ～ |
| 曲げ強度 | ～ |
| 　スランプ・スランプフロー | ～ |
|  空気量 | ～ |
| 　塩化物含有量 | ～ |
| 　 | ～ |
| 　 | ～ |

**注意事項（製品検査記録）**

1. **認証を受けようとするコンクリートの種類（「普通」・「舗装」・「軽量」・「高強度」）毎に各々のデータを提出してください。種類毎に整理して示し、製品記録目次にもその旨表示して下さい。**
2. **強度（圧縮・曲げ）は、「代表的な呼び強度１つ」について、「データシート」と「管理図」にまとめたものを提出して下さい。データ量は次の要領に従って下さい。**
	1. **普 通・舗 装：普通コンクリートは、生産実績６か月以上かつ同一呼び強　　　度３０個以上必要。舗装コンクリートは、生産実績がなくても、配合設計／配合確認、製造／検査設備等が整っていれば申請可能。ただし、上記、普通コンクリートの生産実績を有することが前提条件。**
	2. **軽量・高強度：生産実績は、６か月以上かつ実機による同一呼び強度のデータが３０個以上必要。**

なお、上記１．及び２．で既存ＪＩＳ工場の場合の生産実績等のデータは、直近のデータでなくても可（普通コンクリートを除く）。

1. **強度以外の項目（スランプ・空気量・塩化物）は、「データシート」のみ提出して下さい。項目毎の結果の値を一覧表とし、Ａ４用紙１枚にまとめても構いません。なお、データ量は、直近で出荷のある月の６か月分とします。**